別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称)						主 (法人にあっては主たる事業所の所在地)			
タイプ カモ井加工紙株式会社						- 〒 710-8611 所 岡山県倉敷市片島町236			
	部署名:	生産管理本部	品質環境	竟管理部	/21				
主たる業	種 分類 コード	14 業種名:	パルプ・	・紙・紙加工	品製造	業			
事業の		<u> </u>							
概要	マスキン	⁄グテープ・捕虫	、粘着製品	品等の製造・月	販売				
	番号	工場	場等の名			所 在 地			
	① 矢	掛工場			小	小田郡矢掛町中808			
県内の	2 本	社工場			倉	倉敷市片島町236			
主な	③ カ	③ カモ井パーキング			倉	倉敷市阿知1丁目15-27			
工場等									
				— • • •					
特定事業の該当要	,,I					00台、タクシー250台以上 🗌 ③co₂換算3,000			
の該ヨ安	件 (●_	L場等の数	3		●車回	両台数(②該当の場合)	台)		
温室効果ガ	ス基準年	三度(令和 3	年度)	(令和	4)4	年度排出量 目標年度(令和 6	年度)		
排出量		13,865 t	CO ₂		13	, 038 t CO ₂ 14, 800 t C	O_2		
	番号	番号 工場等の名称				(令和 4)年度排出量			
	1)	矢掛工場				11,829 t CO ₂			
主な工場	<u>②</u>	本社工場				1,173 t CO ₂			
の排出量	3	③ カモ井パーキング				36 t CO ₂			
						t C			
						t C			
						t C	O_2		
	計画其	期間: 令	·和 4	年度	~	令和 6 年度 (3 箇年	三度)		
削減目標 達成状況		総排出量基準	(4)年度削減	或実績	目標削減率 目標達成			
X±7-X-1/(1)		原単位基準		0.4	%	3.0 % □ 達成 ☑	未達		
(FE) \(\(\begin{array}{c} \dagger{1} \dagg	温室効	果ガスの排出量と密	接な関係る	ともつ値の内容		原単位当たり排出量			
(原単位基 の削減目標	を					基準年度 (4)年度 目標年			
選択してい場合に記入		n2数				0. 1066 0. 1062 0. 1034			
					t co	$t co_2/(+m^2)$ $t co_2/(+m^2)$ $t co_2/(+m^2)$	m2)		
(該当事業	者のみ記が		^	シンチー・カー	上插	関連数値(令和 4 年度) 達成	战率等		
1, 1/2 2 2 2 -	ツ 刈	象事業の名称	ベンチマーク指標		日1示	■ 関連数値(令和 4 年度) 達房	v 公公王		
指標の状況) _[~ 1 1		

矢掛工場:製造m2数ダウンによる効率ダウン。 本社工場(製造側):製造m2数ダウンや少量多品種化による効率ダウン。

本社工場(事務所関係):事務所棟の増設や在宅勤務見直しによる電気使用量増加。

今年度は上記理由等から未達成となった。 令和5年度、太陽光発電システムの追加導入予定であり、電気使用量削減効果が期待される。 今後もロス削減・効率アップ等々により省エネに努め、最終年度(令和6年度)目標達成を目指す。

【推進体制】

- ・省エネ法に準じ、エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者、エネルギー管理者を任命
- ・安全や製造ロス等を対象とする製造ロス撲滅会議を実施(本社工場。1回/週)
- ・製造班引き継ぎ時に、安全・製造ロス等を対象とするミーティングを実施(矢掛工場。毎日)
- ・ロス削減、メンテナンス等、製造上の問題を議題とする製造部会議の実施(本社工場・矢掛工場。1回 /月)

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】					
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容				
令和4年度実施分 矢掛工場	(令和4年度実施分) ・一部製品の工程変更による電気使用量削減を継続(C02削減量21t/年) ・高速包装機、多軸切断機導入による生産能力アップ(C02削減量8t/年) ・稼働停止時のエア漏れ対策による電気使用量削減(C02削減量4t/年) ・塗工機の運用改善(増速、ロス削減等)による生産性の向上				
本社工場	・事務所棟改装の断熱強化による電気使用量削減(CO2削減量21t/年)				
矢掛工場、本社工場	・製造機と切断・包装機等の定期メンテナンス実施によるロス削減				
全社	・LED照明、モーター等、省エネ型機器への順次更新を継続(CO2削減量21t/年)				
(令和5年度実施予定分) 矢掛工場	(令和5年度実施予定分) ・変圧器更新(5台)による電気使用量削減(C02削減量14t/年) ・蒸気とエア漏れ修理によるコスト削減(C02削減量62t/年) ・太陽光発電導入による昼間買電の電力削減(C02削減量206t/年)				
本社工場	・事務所棟改装の断熱強化による電気使用量削減(C02削減量10t/年)				
矢掛工場、本社工場	・製造機と切断・包装機等の定期メンテナンス実施によるロス削減				
全社	・LED照明、モーター等、省エネ型機器への順次更新を継続(C02削減量10t/年)				

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	・太陽光発電パネル(416kW)を令和2年1月設置(矢掛工場) ・太陽光発電パネル(250kW予定)を令和6年1月設置予定(矢掛工場)
その他	無	

【その他特記事項】

- ・不要照明の間引き、OA機器の省エネモード設定等、消灯の徹底
- ・節電、コピー用紙削減、クールビス・ウォームビズの推進等、省エネに関する啓発活動の継続
- ・エネルギー管理資格の取得奨励